

中2

英語

ポイント

名前 _____

受け身(be動詞+過去分詞)

_____ 月 _____ 日

まとめ 受け身(be動詞+過去分詞)

中2 標準

「～される」は〈be動詞+過去分詞〉で表す。「～によって」は by ～、過去の受け身は be動詞を was・were にする。

受け身

This song is **loved by** young people.

この歌は若い人たちに愛されています。

過去の受け身

This letter **was written** by Emma.

この手紙はエマによって書かれました。

疑問文

Is English **taught** by Ms. Green?

英語はグリーン先生によって教えられていますか。

by がない

Portuguese is **spoken** in Brazil.

ブラジルではポルトガル語が話されています。

ポイント1 受け身は〈be動詞+過去分詞〉。過去分詞は規則動詞なら -ed、不規則動詞は1つずつ覚える (write → written、take → taken、teach → taught など)。

ポイント2 「～によって」は by ～。by のあとの代名詞は him・her・them のような形(目的格)にする。過去の受け身は be動詞を was・were にする。

ポイント3 否定文は be動詞のあとに not、疑問文は be動詞を主語の前に出し、答えも be動詞を使う (do・did は使わない)。

ポイント4 「～で話されている」「～年前に建てられた」のように、だれがするかを言わなくてよいときは by ～ をつけない。

例

(1) Ken washed these dishes.

→ These dishes were washed by Ken.

These dishes **were washed** by Ken.

目的語を主語にして、〈be動詞+過去分詞〉にする

(2) He painted this picture.

→ This picture was painted by him.

by **him** (by he にしない)

by のあとの代名詞は目的格

